



人の意見は千差万別であるので、最終的には市の方針とでもいうか、何をやりた  
いかというのが出てくるのかなと思う。

オープンガーデンについては簡単な地図を作っているのはいいことなだけれ  
ども、それならば、お勧めの散歩ルートや景観のお勧めスポットや食事の場所な  
ども合わせて紹介できるような、歩いて回る芦屋の楽しさや美しさを伝えられる  
ようなツールを作って一緒にやるというような、つなぎ方の工夫をすればよいと  
思う。マップの作製についても芦屋で頑張っているデザイナーとかアーティスト  
に協力いただいておしゃれな、保存版にしておきたいようなマップにする。

図書館に比べて美術館が寂しい雰囲気になってしまっていて、残念だった。相  
当良いものを沢山持っていると思うが、それが何か誇りとしてうまく表現できて  
いない。もっと誇りを持ってあの美術館を運営していくという気概があらわれて  
もいいのと思う。ただ、スタッフだけに頑張れというのは酷な話で、他のイベ  
ントと目をあわせて、組み込んでいくような、人がそこにうまく回っていくよう  
な仕掛けをして、周りをもっと盛り立てていくようなことをして、雰囲気として  
華やぎのある場所にしていく必要がある。華がない寂しい感じだと足が遠のいて  
しまうことになる。

久しぶりに市内を回り、芦屋はやっぱりきれいな町で、市民としてありがたい  
と思った。

私は文化行政のあり方についても、究極の目的は市長もおっしゃっている「世  
界一美しいまち 芦屋」だと思う。その為には、豪華絢爛ではなく、質素な中に  
も演出というか心づくしのようなものができれば良いと思うし、芦屋はそれがで  
きるまちだと思う。

教育の面でも、情操教育と言うか、いろんな面で道徳心を植えつける、目上の  
人を敬うという心理を芸術文化を通して育てるというのも一つの方策ではないか  
と思う。

また、防犯の面でも、例えば子どもの万引きの場合、市内の子はもちろん市外  
から来た子も芦屋ではそういうことがしにくい、できない、する気にならないと  
いうまちにしていかなければならないと思う。

市内のいろいろな所を回ってみて、行政の方や市民の方がオープンガーデンも  
含めて芦屋市のために、一生懸命努力されていることをひしひしと感じ、私も含  
めて市民のもっと多くが我が事としてかかわっていかなければいけないと思っ  
た。

芦屋市行政の大変なところは、ありがたいことではあるけれども、芦屋につい  
て、あまりにも良いイメージとブランドが先行し過ぎているところである。芦屋  
市の行政だからと言って特別に他より豊かで優雅な財政でもないし、むしろ大震  
災で大きな被害を受けたまちであるが、芦屋市ならではの文化的なまちづくりを  
していかなければならないし、それを皆が要求してしまう。

オープンガーデンを例に取っても、門を閉めて自分の庭でマイガーデンを楽し  
んでいる方が多いと思うが、それを小施設のように少しでも多くの方に開放しよ  
う、自分の庭をお見せするのは面倒だけれども、それが芦屋の町づくりに役立つ  
んだというような考えになって、もっと素敵な暮らし方を皆様に見ていただきま  
しょうみたいな形で発展していけばいいと思った。

美術館にしてもルナ・ホールにしても、現在の状況の中であまり多くを期待し  
ないというか、ちょっとそっぽを向いてよそに行っている。素敵な暮らしと言っ  
ても、芦屋では寝て、自分の庭の周りだけを綺麗にすればいいみたいな市民達を  
いかに、この芦屋市をちゃんとして芦屋ならではのイメージやブランドを本当に

中身のあるいものにしていくためにはこの懇話会は非常に大切だと痛感した。

芦屋はあれがあるって言うようなインパクトのある戦略，政策だけではなくいい意味で戦略が非常に求められている時代であると思う。そこで，文化政策プラス文化戦略を考えるチームと言うか，先進事例を学び，知恵をもっとつけて，もっと専門的にプロフェッショナルにひとりひとりが政策と戦略を考えていくことが必要である。

芦屋市に住んでからずっと，芦屋で心惹かれたのは，想像すればロマンを感じさせる遺跡と，花崗岩地帯特有の風景であったので，それを大切にし，芦屋市を発展させるために，人が訪れたいくなる文化財を多くわかりやすくすることが大切だと思う。

実際に回って，説明の話を聴くことで芦屋市のすばらしさをわかってもらえるような芦屋案内を行うと良いと思う。そして，その案内役は公民館講座などで芦屋学のような講座をとおして育成できれば良いのではないかな。

( 2 )

中間まとめとなっているが，どういう位置付けの文書なのかをもっと明確にする必要があるのではないかな

章立ての内容や順番，表題が良いか，まとめ方は良いかを慎重に考える必要がある。

始めに総論的なものをしっかりと書くべきである。

内容の表現でもわかりにくいところがあるので修正が必要。

〔結論〕以上のような意見が出され，全員で意見を確認。また，次回の会議以降で提言作成に向けてスケジュールを立てて進めていくことも確認した。

以 上